

#### ■全世代型社会保障検討会議のメンバー

議長 = 安倍晋三首相  
議長代理 = 西村康稔経済再生相

麻生太郎財務相・菅義偉官房長官・高市早苗総務相・  
加藤勝信厚労相・菅原一秀経産相

有識者	所属する会議
中西宏明 経団連会長	経済財政諮問会議 未来投資会議
桜田謙悟 経済同友会代表幹事	未来投資会議
新浪剛史 サンドリーポールディングス社長	経済財政諮問会議
遠藤久夫 国立社会保障・人口問題研究所所長	社会保障審議会
翁 百合 日本総合研究所理事長	未来投資会議
鎌田耕一 東洋大学名誉教授	労働政策審議会
清家 篤 日本私立学校振興・共済事業団理事長	社会保障制度改革推進会議
増田寛也 東京大学公共政策大学院客員教授	社会保障制度改革推進会議・社会保障審議会
柳川節之 東京大学大学院経済学研究科教授	経済財政諮問会議

「誰もが安心できる社会保障制度」を検討するとして安倍政権が設置する新たな司令塔、「全世代型社会保障検討会議」のメンバーが、不安しか抱けない顔ぶれになっています。

20日にも初会合が開かれる同検討会議のメンバーは計16人。安倍晋三首相が議長を務めるほか、議長代理に就く西村康稔、全世代型社会保障改革担当相や、麻生太郎財務相、菅義偉官房長官、加藤勝信厚生労働相ら6人の関係閣僚が入ります。

特徴的なのは、民間から入る9人の有識者です。これまで政府内の各会議で社会保障や労働法制などの改悪をけん引してきた顔ぶれが、各会議の代表者として参加します。一方で労働界や医療界、介護の現場の代表者は誰一人参加していません。

財界からは、経団連の中西宏明会長、経同友会の桜田謙信代表幹事と、いうツートップが入るのに加え、新浪剛史サンタリーホールディングス社長が参加します。これまで、新浪氏は

現在29・74%の法人実効税率の25%程度への引き下げを求める一方で、社会保障制度に対する国民に痛みを強いる「給付と負担のあり方を中心とした改革」を強く要求しています。

社会保険財源については昨年4月の提言で「税は「着実な実行」を求めていました。

同友会の桜田氏も、今回の内閣改選前に「痛みを伴うものにも目を向けて取り組む内閣」と注文をつけていた人物でした。

# 代表者は皆無

有力な選挙肢の一つ」とも主張していました。

中西氏自身の口の会見で「別に政権に慶祝ぐわけじゃないが、まだまだ経済界としては不満がある」と表明。「選挙をベースとする」と手法をほつひとつさせます。

改悪旗振り役ずらり  
現場の代表者は皆無

# 社会保障会議 不安な面々

委員役員を歴任 そのほか民間から検討会議に入る清家篤・前慶應義塾長は、数々の政府会議の委員・役員を歴任してきた人物です。清家氏は、現在議長を務める社会保障制度改革推進会議で、年金については、マクロ経済スライドによる給付水準の自動削減を続けるとともに「(労働者が)長く働き続けることで繰り上げ受給で給付額を増額し、老後の年金をそれなりに獲得できるようにしていく」というのが最良のシナリオだ」などと本音を漏らしていました。